



▶▶岡山県真庭市

地域おこし協力隊による インターナショナルシェアハウスの開業

韓国から真庭市へやってきた地域おこし協力隊が中心となって、空き家を活用して、地域資源の発掘や世界への発信の場となるインターナショナル・シェアハウスを開業することとなりました。開設費用や日本の田舎暮らしを体験したい外国人に居住スペースを提供するための資金について、クラウドファンディング型のふるさと納税によって集めました。市内外から集まったボランティアの協力もありシェアハウスは完成し、寄附者を

オープニングセレモニーへ招待しました。また、集めたのは資金だけではありません。住民や市外のボランティアを集め、敷地内の草刈、掃除、壁の塗装など、多くの人の手作りで完成させました。



シェアハウス開設に協力してくれた仲間たち

注力した点や工夫した点

日頃より、市のイベント参加やアンケートに協力いただいている「真庭市観光サポーターズ倶楽部」の加入者（市外在住の出身者）へ取組のパンフレットや手紙を送付しました。

Check

取組の効果

シェアハウスは、豊富な専門知識や職業経験を持っている世界各国からの人材と地域コミュニティーをつなげる空間となりました。

外国人入居者は、サイクリングコースのガイドや、学童保育での地域の子育て参加などを通じて、地域住民との交流を積極的に行っています。また、市民の中には、取組をきっかけに、地域に対する誇りを持ち、地域を変えていこうと

いう気概が生まれています。

インバウンドという言葉に縁がなかった真庭市に外国人が訪れるようになったことは大きな財産です。



毎月楽しい交流会を実施



外国人入居者が地域の会議でサイクリングコースを提案

寄附者の声



・シェアハウスのオープニングイベントに招待されました。ふるさとに生まれた一つの明るい光の今後が楽しみです。

住民の声



・地域住民とシェアハウス住民との毎月の交流会を楽しみにしています。